第 3 回ワールドカップ大会出場について

盛岡支部
飛澤　周希（参段）

今回ブルガリアで行われた第 3 回ワールドカップに出場させて頂きました。
まずこの大舞台に 立てたのは、決して自分一人の力ではなく、色々な方々の支えがあってここまでこれたと思っています。貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。
その中でも自分の試合について感想をまとめてみました。

7/5
1 回戦
いつも通りの動きができた。
試合の組み立てが上手くいき、パンチで効果を取ることができ、掴んでからの攻撃もしっかり落ち着いてできた。
もう少し横の動きを使えば良かった。
効果優勢勝ちで勝つことができた。

7/6
準決勝
しっかり初戦の悪いとこを修正して試合に臨んだ。
でも自分の悪いとこが出てしまった。掴みが多くなり打撃が少なくなってしまった。
キャッチからの投げまでは出来たがポイントは取ることができなかった。
判定で勝つことができた。

決勝
日本人対決でした。
最初から掴みにいき寝技に入りマウントポジションで効果を取られてしまった。
ポイントを取り返そうと思ったが、自分のペースに持ってけずそのまま試合が終わり負けてしまった。
あっという間な試合で悔しい結果になった。

これからの課題

フィジカル強化
打撃のコンビネーション
掴みに頼らない戦い方
瞬発的な動き
フットワーク
投げ技のレパートリーを増やす

今回の大会でたくさんの課題が見つかり、自分の弱さを発見することができました。また、人とのつなが りや学びの大切さも感じることができました。

他支部の支部長の方々と直接話す機会があり、技術や考え方について貴重なアドバイスをいただきました。普段の稽古では聞けないような実践的な話も聞けて大きな刺激になりました。

こうした出会いや学びを通して、空道の奥深 さを改めて実感もできました。

この経験を道場に持ち帰り、さらに自分を高め、仲間とも共有しながら、これからも最強を目指し、真摯に空道と向き合っていきたいと思います。
最後に、大会、旅行道中について、皆さまからご親切にお世話いただきありがとうございました。この度のお礼に代えさせていただきます。　　押忍。